
中国情報 (WTO/FTA・貿易・安全・その他)

2009年3月19日号

©2009年1～2月における中国の油糧・食油市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年1～2月における油糧・食油市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内油糧作物及び食用植物油価格は小幅安

春節（旧正月。2009年は1月26日）で消費が旺盛になったものの、国際価格が下落したことから、2009年2月の国内油糧及び食用植物油価格は小幅安となった。湖北地区の菜種の工場入荷価格は1トン当たり3,627円で、前月比4.6%安・前年同月比28.2%安となった。同地区の四級菜種油の工場出荷価格は7,687円、前月比0.4%安・前年同月比42.4%安となった。山東地区の二級落花生仁（種子の中の食べられる部分。殻むき落花生）価格は4,480円、前月比0.4%安・前年同月比49.3%安となった。四級落花生油価格は9,427円、前月比1.3%安・前年同月比48.7%安となった。天津港におけるパーム油（融点24℃）のオフア一価格は5,183円、前月比0.8%安・前年同月比51.1%安となった。

2 国際油糧及び食用植物油価格は小幅安

南米の旱魃の影響により、2009年1月の国際油糧及び食用植物油価格は比較大きく反発したものの、2月には小幅に下落した。カナダの菜種のCNF価格（C&F価格、1990年の国際商業用語改正後はCFR価格：運賃込み価格＝FOB（本船渡し）価格＋運賃。以下同じ）は1トン当たり408ドル、前月比1.2%安・前年同月比44%安となった。南米の若採り大豆油のCNF価格は737ドルで、前月比3.5%安・前年同月比48.2%安となった。マ

レーシアのパーム油（融点24℃）の離岸価格（本船渡し（F O B）価格）は608ドルで、前月比1.3%安・前年同月比49.5%安となった。

3 輸入菜種及び大豆油の通関渡し価格は国内市場価格を下回る

2009年2月のカナダ産菜種の通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）は1トン当たり3,555元前後で、国内菜種の工場渡し価格に比べ72元低く、その価格差は前月よりやや縮小し、4か月連続で国内市場価格と下回って推移した。米国メキシコ湾における大豆油のF O B価格は1トン当たり663ドルで、これを4,531元と換算すると、山東地区の興産大豆油価格に比べ2,199元低かった。また、通関渡し価格は6,647元で、当地の国産大豆油価格に比べ、83元低かった。

4 油糧輸入は大幅増、食用植物油の輸入は減少

2008年の中国の油糧輸入量は、前年比22.2%増の3,900万トンとなった。そのうち菜種輸入量は56.4%増の130万トンとなった。同じく食用植物油は2.7%減の817万トンで、うちパーム油輸入量は3.7%増の528万トン、菜種油は28%減の27万トンとなった。

5 中国の油菜生産状況は全体に良好

2009年2月の主産地のアブラナは、抽臺期（臺（とう＝花茎、花軸）が伸びる時期）及び開花期にあり、前半は河南省南部及び安徽省中北部などで早魃があり、油菜生産に比較的大きな影響があったが、その他の地区では大きな影響はなかった。現在、アブラナの生長状況は全体に良好である。